

## 北アイルランド・ベルファストフォーラム - 2014 年 10 月 21,22 日



Fisuel の国際フォーラムが 2014 年 10 月 21, 22 日、北アイルランドのベルファストで、BI Electrical Services と Invest Northern Ireland のスポンサーにより開催されました。

このフォーラムの前には欧州とアジアのワーキンググループ会合と理事会が開催され、フォーラムの後には世界の 8 大奇観に数えられる Giant's Causeway を含む、Antrim coast の視察が行われました。

BI Electrical Services と Fisuel の紹介に続いて、統計、電化、コミュニケーション、電気保安、模造品と 3 つのワーキンググループ報告に関する 22 件の発表がありました。全ての発表は Fisuel のウェブサイトに掲載されています。

### キーメッセージ

#### ①品質

電気設備の品質が需要家の電気保安を確実にしますが、専門のプロによるもので、規格・基準に適合した、正規の製品が使用され、正しい手順により行われたものでなければなりません。

#### ②統計

整合性があり、信頼される統計は、比較検討のために重要です。それは、ISO.TR 17755 テクニカルレポートの目的でもあります。また、継続的な更新と社会経済的なメッセージに活用される必要があります(例:X 地区の住民の住宅火災の危険性)。

住宅の電気火災の割合は、原因不明のケースを除き、20~30%となっており、FISUEL で共有すべき点です。各加盟会員におかれては、各国でのこの種の統計の提供をお願いします。

#### ③コミュニケーションと教育

これらは、電気保安に関して、一般の人々、特に若い人たちに対して、注意喚起し、情報提供し、考え方を変えてもらう強力な武器です。

#### ④偽造品とまぎらわしい製品

このような製品・電気機器は、需要家の電気保安を脅かします。本問題の重要性と電気保安に対する影響ははっきりと示されています。

#### ⑤電気保安

この関係では、フォーラムにおいて多数の発表があり、FISUEL の会員から次のように世界での最善実施例等が紹介されました。

- ▶ 欧州における、電気設備の竣工・定期点検
- ▶ 日本における竣工・定期点検機関
- ▶ 既設設備のリスク解析
- ▶ インターネットを使った、専門技術者の技能の可視化
- ▶ 電気保安のための自然災害(地震)対応

注: 各加盟会員は、各国の状況について、質問票(safety barometer.org)への記入をお願いします。

#### ⑥電化

毎回のフォーラムで本件は採り上げられています。Cape Verde の周辺地区と Côte d'Ivoire のスラム街における電化事業での先進的な取組が紹介されました。

#### ⑦結論

ベルファスト・フォーラムでは、4つの提言が採択されました。

- ① 設備の適切な使用と電気保安のための全関係者(当局、従事者、消費者、若者等)の訓練・教育
- ② 一般の人に対する Fisuel の情報共有と Fisuel ウェブサイトへのアクセス
- ③ 国際イベントへの Fisuel の参加
- ④ 経済社会的メッセージを伴った統計に関する広報。例：人、材料／品物、経済への影響
  - 住宅火災の原因となる電氣的欠陥
  - 電気事故(感電、ショック)
  - 竣工・定期検査の未実施
  - 不正な模造品の存在



FISUEL は、電気の需要家の安全に関する全てのテーマのデータベースを充実させています。ベルファストフォーラムにおいて、再度そのことが示されました。力を合わせて電気の不安全と戦いましょう。

## 世界のビジネスリーダーが北アイルランドの電気保安を称賛

北アイルランドとイギリスの他の地域は、フランス、日本と共に、北アイルランドで初めて開催された国際会議で、電気設備と需要家の安全の世界レベルのベンチマークを示しました。

国際電気保安連盟 (FISUEL) の中村秋夫会長によるその所見は、タイタニックビルで開催された国際電気保安会議の閉会式で述べられたものです。

FISUEL の中村会長は、「このFISUEL フォーラムにおいて、エネルギー利用に関する重要な挑戦を議論するため、世界のリーダーが参集した」と述べました。



私たちの仕事は、安全性、効率性とエネルギーの合理的な利用を保証する電気保安のコンセプトを確立し、広げていくことにありました。そうすることで、私たちは、北アイルランド、イギリスの他の地域とともに、フランスや日本などでのベストプラクティスを特定しました。

この電気保安の促進という仕事は、今後何年、何カ月にもわたって世界的に続いていくのです。”

この4日間のイベントは電気工事会社BI Electrical Services社と Invest NIの主催で開催され、国際的な専門家たちが電気保安バロメータのインターネットサイト([safetybarometer.org](http://safetybarometer.org))があり、既に英国等が対象になっていますが、世界的に電気保安を標準化していくためには、なすべき点が多々あることが示されています。

FISUELは2002年の設立以来、電気設備の標準化について世界に訴え、前回ポーランドのワルシャワでの会議に続き、電気保安に関する標準化の鍵となる事

項について議論してきました。

BI Electrical Services社の取締役で、FISUELへの同社の代表でもあるJim Speirs氏は、今回の会議は、世界からの参加者に北アイルランドの取組を示す大変すばらしい機会となったと述べました。

彼はまた、FISUELは世界の中で電気保安に関する注目すべき組織であり、今回の会議は電気保安に関する重要な決定がなされた国際的なフォーラムだったと述べました。

また、この会議がこの地で開催されたことは、ベルファストが国際ビジネスの成長の地であることを示した。世界の国際的ビジネスリーダーを含む参加者たちが、電気の標準化を国際的に推進する決定を行ったのです、と述べました。

## 次の2015年韓国フォーラム

2014年10月20,21日にベルファストで開催された理事会で、2015年のフォーラムを韓国で開催するという KESCO の Lee Sang-Kwon 社長の要請を了承しました。



フォーラムは、2015年11月に2日間開催され、その前に理事会とアジア、欧州、アフリカのワーキンググループが開催されると共に、視察も計画されます。(日にちは追って決定)

テーマは、電気保安、統計、偽造品、電化、証明等です。

フォーラムの成功のために、みなさんからのアイデア、助言、テーマ、発表をお願いします。

また、フォーラムへの出席してもらう当局者、メーカー等の参加者についての提案もお待ちします。

Fisuel は、本提案及びアジアワーキンググループでのリーダーシップについて、KESCO に対して感謝します。

本韓国フォーラムは、FISUEL にとってアジア地域での活動をダイナミックなものとする重要な一歩となるでしょう。

### 韓国会議 2015年11月

\*\*\*\*\*

### その他

#### • 今後の FISUEL の会合の予定

|         |                            |                       |                |
|---------|----------------------------|-----------------------|----------------|
| 理事会     | 2015年3月9,10日<br>ポルトガル・リスボン | 2015年5月18日<br>フランス・パリ | 2015年11月<br>韓国 |
| 通常・特別総会 | 2015年5月19日<br>フランス・パリ      |                       |                |
| 国際フォーラム |                            |                       | 2015年11月<br>韓国 |

• FISUEL のワーキンググループの役割は、各国の法令、出版物、コミュニケーションについて補強、補完されます。各ワーキンググループのリーダーは、韓国フォーラムの時に加えて、2015年中の会合を開催します。

• FISUEL と CENELEC(欧州電気標準化委員会)との協力協定が2014年12月に署名されました。

これら2つのトピックスについては、次のニュースレターで掲載します。